

令和4年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果

確かな学力

○肯定的な回答をした児童は94%、生徒は88%、小学校の保護者は88%、中学校の保護者は74%である。
 ⇒学力調査の結果等を基に各学校が作成した授業改善推進プランに基づき、実態に即した指導を行う。
 ⇒主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図る。
 ⇒学力向上について保護者と連携して取り組むことができるよう、学校便りやホームページ、学校公開等を活用し、学力調査結果の公表や調査結果の活用方法の紹介等、積極的に発信する。

【小学校】

	質問事項		とても分かりやすい	分かりやすい	分かりにくい	とても分かりにくい	無回答
児童	①学校の授業は分かりやすいですか。	令和4	35%	59%	5%	1%	0%
		令和3	36%	59%	5%	0%	0%
		令和2	35%	58%	6%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に学力を身に付けさせていると思いますか。	令和4	32%	56%	10%	2%	0%
		令和3	30%	61%	8%	1%	0%

【中学校】

	質問事項		とても分かりやすい	分かりやすい	分かりにくい	とても分かりにくい	無回答
生徒	①学校の授業は分かりやすいですか。	令和4	16%	72%	10%	2%	0%
		令和3	16%	74%	9%	1%	0%
		令和2	21%	66%	11%	1%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に学力を身に付けさせていると思いますか。	令和4	17%	57%	22%	4%	0%
		令和3	14%	54%	27%	5%	0%

確かな学力

○肯定的な回答をした児童は91%、生徒は90%、小学校の保護者は84%、中学校の保護者は67%である。
 ⇒学習のねらいを明確に示し、児童・生徒が学習に見通しをもてるようにする。
 ⇒児童・生徒の学習意欲を高めることを意識して、教員が言葉掛けをし、学習意欲を喚起させる。
 ⇒学校での学習指導と共に、家庭学習の定着を図るために、家庭において予習・復習ができるコンテンツである「くじらーニング」の活用を更に推進する。

【小学校】

	質問事項		よく取り組んでいる	取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
児童	②授業に対して、すすんで取り組んでいますか。	令和4	34%	57%	8%	1%	0%
		令和3	31%	59%	9%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②学校は、お子様が意欲的に学習できるよう、授業を工夫していると思いますか。	令和4	26%	58%	14%	2%	0%
		令和3	28%	59%	11%	1%	1%

【中学校】

	質問事項		よく取り組んでいる	取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
生徒	②授業に対して、すすんで取り組んでいますか。	令和4	28%	62%	9%	1%	0%
		令和3	25%	64%	10%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②学校は、お子様が意欲的に学習できるよう、授業を工夫していると思いますか。	令和4	12%	55%	29%	4%	0%
		令和3	10%	55%	31%	4%	0%

確かな学力

○肯定的な回答をした児童は83%、生徒は84%である。
 ⇒昨年度より肯定的な回答の割合が、小中共に増加しており、各学校の話し合い活動の工夫等、対話的な活動の充実による成果と考えられる。
 ⇒ICTの効果的な活用を図り、発言の苦手な児童・生徒の意見を全体で共有できるようにするなど、活動の工夫により一人一人の自己肯定感や達成感を高めるようにしていく。

【小学校】

	質問事項		よく参加している	参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答
児童	③授業中、子ども同士で話し合う時間や、意見などを発表する時間に、すすんで参加していますか。	令和4	35%	48%	16%	1%	0%
		令和3	34%	44%	20%	2%	0%

【中学校】

	質問事項		よく参加している	参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答
生徒	③授業中、生徒同士で話し合う時間や、意見などを発表する時間に、すすんで参加していますか。	令和4	33%	51%	14%	2%	0%
		令和3	31%	51%	16%	2%	0%

確かな学力

○肯定的な回答をした児童は92%、生徒は81%、小学校の保護者は70%、中学校の保護者は50%である。
 ⇒タブレットを活用して、一人一人の理解の状況や能力、適性に合わせた学びを推進することにより、児童・生徒が学習意欲の高まりとタブレットの有用性を実感できるようにする。
 ⇒タブレットによる意見の発信や共有等を通して、各学校が児童・生徒の学びを深める工夫を行う。
 ⇒タブレットを活用した家庭学習の充実について、「くじらーニング」を効果的に活用するなど、各学校で工夫する。

【小学校】

	質問事項		とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない	無回答
児童	④授業中や家庭学習の中で、タブレットを使うのは勉強の役に立っていると思いますか	令和4	53%	39%	7%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③学校は、お子様の学力や学習意欲を向上させるために、タブレットを有効に活用していると思いますか。	令和4	26%	44%	25%	5%	0%

【中学校】

	質問事項		とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	思わない	無回答
生徒	④授業中や家庭学習の中で、タブレットを使うのは勉強の役に立っていると思いますか	令和4	33%	48%	15%	4%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③学校は、お子様の学力や学習意欲を向上させるために、タブレットを有効に活用していると思いますか。	令和4	12%	38%	37%	13%	0%

確かな学力

○肯定的な回答をした児童は78%、生徒は67%、小学校の保護者は58%、中学校の保護者は40%である。
 ⇒言語活動の充実やALTの効果的な活用等により、コミュニケーションを図る態度の育成を推進する。
 ⇒実用英語技能検定や立川英語村での体験活動を通して、英語を学ぶ動機付けや英語学習の意欲向上につなげる。
 ⇒授業公開や学校ホームページ等で、外国語活動や外国語の授業の工夫について発信していく。

【小学校】

	質問事項		よく図っている	図っている	あまり図っていない	図っていない	無回答
児童	⑤外国語活動や外国語(英語)の授業で、すすんで友達や先生と、外国語でコミュニケーションを図っていますか。	令和4	32%	46%	20%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④学校は、外国語活動や外国語(英語)の授業で、お子様がすすんで外国語でコミュニケーションを図れるよう、工夫していると思いますか。	令和4	12%	46%	36%	6%	0%

【中学校】

	質問事項		よく図っている	図っている	あまり図っていない	図っていない	無回答
生徒	⑤外国語活動や外国語(英語)の授業で、すすんで友達や先生と、外国語でコミュニケーションを図っていますか。	令和4	20%	47%	27%	6%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④学校は、外国語活動や外国語(英語)の授業で、お子様がすすんで外国語でコミュニケーションを図れるよう、工夫していると思いますか。	令和4	9%	31%	41%	19%	0%

確かな学力

○放課後の勉強時間について、小学校では「30分以上1時間より少ない」と回答した割合が32%、中学校では「1時間以上2時間より少ない」と回答した割合が29%となっており、それぞれ各校種で一番高い割合となっている。また、家庭学習の習慣について、小学校保護者の肯定的な回答の割合は63%、中学校保護者の肯定的な回答の割合は45%となっている。
⇒「グッドモーニング60分」の取組等、生活習慣の定着とも関連付けながら、各学校で作成した家庭学習スタンダードや家庭学習のしおりを活用して、学習習慣の定着を図る取組を行う。
⇒家庭において予習・復習ができるコンテンツとして「くじらーニング」の活用を推進し、家庭での学習習慣の定着を図る。

【小学校】

	質問事項		3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	まったくしない	無回答
児童	⑥1日平均、何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)	令和4	10%	12%	28%	32%	15%	3%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答		
保護者	⑤お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	令和4	24%	39%	27%	10%	0%		
		令和3	23%	43%	27%	7%	1%		

【中学校】

	質問事項		3時間以上	2時間以上3時間より少ない	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	30分より少ない	まったくしない	無回答
生徒	⑥1日平均、何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)	令和4	7%	16%	29%	23%	15%	10%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答		
保護者	⑤お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	令和4	15%	30%	36%	19%	0%		
		令和3	14%	31%	35%	20%	0%		

確かな学力

○1日平均の読書時間について、「10分以上30分より少ない」と回答した割合が小学校では22%、中学校では27%となっており、「まったくしない」と回答した児童が22%、生徒が28%となっている。また、「お子様は、家庭で読書をしていると思いますか」という質問に対し、小学校では64%の保護者、中学校では70%の保護者が「あまりそう思わない、そう思わない」と回答している。
⇒放課後に、読書をまったくしないと回答している児童・生徒に対して推薦図書を提示したり、学校図書館の活用を勧めたりするなどの工夫をする。
⇒保護者に対しては、読書活動に係る啓発を行い、市民図書館等の利用も含め、学校と家庭で連携した読書習慣の改善を図る。

【小学校】

	質問事項		2時間以上	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	10分以上30分より少ない	10分より少ない	まったくしない	無回答
児童	⑦1日平均、何時間読書をしていますか。	令和4	9%	12%	21%	22%	14%	22%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答		
保護者	⑥お子様は、家庭で読書をしていると思いますか。	令和4	18%	18%	32%	32%	0%		

【中学校】

	質問事項		2時間以上	1時間以上2時間より少ない	30分以上1時間より少ない	10分以上30分より少ない	10分より少ない	まったくしない	無回答
生徒	⑦1日平均、何時間読書をしていますか。	令和4	5%	7%	16%	27%	17%	28%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答		
保護者	⑥お子様は、家庭で読書をしていると思いますか。	令和4	10%	20%	37%	33%	0%		

豊かな心

○肯定的な回答をした児童は97%、生徒は96%、小学校の保護者は92%、中学校の保護者は84%である。
 ⇒昨年度よりも肯定的な回答の割合が小中共に増加しており、各学校において、自分や他人を大切にする心情を育む指導を推進してきた成果が表れている。
 ⇒各学校で、教員研修の充実を図るとともに、児童・生徒が自己肯定感、自己有用感を高めていくことができるよう、道徳科や特別活動等の指導を中心に学校教育全体でより一層、人権教育を推進していく。

【小学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
児童	①自分や友達を大切にしていますか。	令和4	60%	37%	3%	0%	0%
		令和3	55%	40%	4%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に自分や友達を大切にする心を育てていると思いますか。	令和4	39%	53%	7%	1%	0%
		令和3	35%	56%	7%	1%	1%

【中学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
生徒	①自分や友達を大切にしていますか。	令和4	54%	42%	3%	1%	0%
		令和3	49%	46%	4%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に自分や友達を大切にする心を育てていると思いますか。	令和4	27%	57%	13%	3%	0%
		令和3	23%	60%	14%	3%	0%

豊かな心

○肯定的な回答をした児童は91%、生徒は92%、小学校の保護者は93%、中学校の保護者は92%である。
 ⇒人権教育や道徳教育の充実を図り、学校教育全体で豊かな心の醸成に取り組んできた成果が表れている。
 ⇒道徳科や特別活動を中心に教育活動全体を通して思いやりについて考えたり、行動したりする場面を意図的・計画的に設けていく。
 ⇒「あまり思わない、思わない」と回答している児童・生徒については、よい行動ができた場面を捉え、認め励ます指導を継続して行う。
 ⇒よい行動を積極的に認め励ますことや、改善が必要な行動を適切に指導することについて、道徳授業地区公開講座等を通して、学校と家庭が連携して取り組む。

【小学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
児童	②思いやりの心をもって行動していると思いますか。	令和4	38%	53%	8%	1%	0%
		令和3	35%	53%	10%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、思いやりの心をもって行動している様子が見られますか。	令和4	45%	48%	6%	1%	0%
		令和3	36%	57%	6%	0%	1%

【中学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
生徒	②思いやりの心をもって行動していると思いますか。	令和4	38%	54%	7%	1%	0%
		令和3	34%	56%	9%	1%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、思いやりの心をもって行動している様子が見られますか。	令和4	40%	52%	7%	1%	0%
		令和3	30%	57%	8%	5%	0%

豊かな心

○肯定的な回答をした児童は87%、生徒は82%、小学校の保護者は89%、中学校の保護者は85%である。
⇒学級活動を中心に、互いの意見や考えを認め合いながら話し合い、合意形成する場面や、他者と協力しながら人間関係や日常生活の改善を図る場面を通して、クラスや学校の仲間と分け隔てなく接することができるように指導する。

【小学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
児童	③男女の性別に関係なく、クラスや学校の仲間とせっして いると思いますか。	令和4	46%	41%	11%	2%	0%
		令和3	46%	39%	12%	3%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③お子様は、男女の性別に関係なく、クラスや学校の仲間 と接することができていると思いますか。	令和4	49%	40%	9%	2%	0%
		令和3	47%	42%	9%	1%	1%

【中学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
生徒	③男女の性別に関係なく、クラスや学校の仲間と接してい ると思いますか。	令和4	36%	46%	14%	4%	0%
		令和3	37%	42%	16%	5%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③お子様は、男女の性別に関係なく、クラスや学校の仲間 と接することができていると思いますか。	令和4	39%	46%	12%	3%	0%
		令和3	31%	50%	15%	4%	0%

豊かな心

○肯定的な回答をした割合は、児童・生徒共に90%、小学校の保護者は85%、中学校の保護者は75%である。
 ⇒各学校の「授業のスタンダード」等も活用しながら、授業規律や、学校生活のルールの徹底を図り、全ての児童・生徒が安心して生活できる生活環境を整える。
 ⇒「あまりできていない、できていない」と回答した児童・生徒に対しては、担任やスクールカウンセラー等が丁寧に気持ちを聞き取り、人間関係形成の困難さや学習上の困難さなど、個に応じた指導を行う。
 ⇒心理的な支援が必要な児童・生徒、不登校傾向のある児童・生徒に対しては、スクールカウンセラーを活用したり、教育支援室やフリースクールと連携したりするなど、気持ちが安定するように努める。

【小学校】

	質問事項		できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	無回答
児童	④学校で落ち着いて安心して生活できていますか。	令和4	55%	35%	7%	3%	0%
		令和3	50%	37%	10%	3%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④学校は、お子様の気持ちが安定するように配慮した心の居場所づくりに努めていると思いますか。	令和4	26%	59%	12%	3%	0%
		令和3	26%	60%	11%	2%	1%

【中学校】

	質問事項		できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	無回答
生徒	④学校で落ち着いて安心して生活できていますか。	令和4	47%	43%	7%	3%	0%
		令和3	45%	45%	8%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④学校は、お子様の気持ちが安定するように配慮した心の居場所づくりに努めていると思いますか。	令和4	17%	58%	19%	6%	0%
		令和3	20%	58%	18%	4%	0%

豊かな心

○肯定的な回答をした児童は93%、生徒は91%、小学校の保護者は93%、中学校の保護者は88%である。児童・生徒、保護者共に肯定的な回答の割合が増加しており、児童・生徒が楽しく学校生活を送るための様々な工夫をしている成果であると考えられる。
 ⇒学級満足度調査やいじめアンケート等の結果を生かし、児童・生徒の実態を的確に捉えていく。特に、「あまり楽しく過ごしていない、楽しく過ごしていない」と回答した児童・生徒については、担任やスクールカウンセラー等が丁寧に気持ちを聞き取り、悩みや不安の解決に向けた具体的な取組を行う。
 ⇒特別活動や異学年交流等を充実させるなど、児童・生徒が主体的に関わり、満足感や達成感を味わえる教育活動を工夫する。

【小学校】

	質問事項		楽しく過ごしている	ほぼ楽しく過ごしている	あまり楽しく過ごしていない	楽しく過ごしていない	無回答
児童	⑤楽しく学校生活をすごしていますか。	令和4	62%	31%	5%	2%	0%
		令和3	56%	33%	8%	3%	0%
		令和2	55%	35%	7%	3%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	⑤お子様は、楽しく学校生活を過ごしていると思いますか。	令和4	52%	41%	6%	1%	0%
		令和3	47%	44%	7%	1%	1%

【中学校】

	質問事項		楽しく過ごしている	ほぼ楽しく過ごしている	あまり楽しく過ごしていない	楽しく過ごしていない	無回答
生徒	⑤楽しく学校生活を過ごしていますか。	令和4	56%	35%	7%	2%	0%
		令和3	53%	37%	8%	2%	0%
		令和2	54%	36%	8%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	⑤お子様は、楽しく学校生活を過ごしていると思いますか。	令和4	39%	49%	9%	3%	0%
		令和3	26%	55%	14%	5%	0%

豊かな心

○肯定的な回答をした割合は、児童・生徒共に97%である。
 ⇒いじめに関する授業や日常的な指導において、いじめは絶対に許されない行為であることを繰り返し指導するとともに、「いじめ防止ポスター」の掲示等による児童・生徒への啓発を図る。
 ⇒児童・生徒が、よりよい学校・学級をつくるためにはどうしたらよいかを考え、自覚して行動できる取組を継続して行う。
 ⇒各学校では、保護者会等の機会を通して、学校いじめ防止基本方針を説明したり、関係機関の協力を得て、いじめられた側の体験や事例等を話してもらい機会を設けたりするなど、家庭においてもいじめの未然防止、早期発見・早期解決の意識を高める工夫をする。

【小学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
児童	⑥いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	令和4	77%	20%	2%	1%	0%

【中学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
生徒	⑥いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	令和4	74%	23%	2%	1%	0%

豊かな心

○相談してみようと思う大人がいると回答した児童は90%、生徒は83%であり、児童・生徒共に増加している。一方、相談してみようと思う大人がいないと回答している児童が10%、生徒が17%いる。
 ○「お子様のことで何か困ったことがあったとき、相談してみようと思う先生がいますか。」という質問に対し、小学校では76%の保護者、中学校では63%の保護者が肯定的な回答をしている。
 ⇒各学校では、「SOSの出し方に関する教育」と、それに関連付けた取組を更に充実させる。
 ⇒日頃から教員が児童・生徒、保護者と適切にコミュニケーションを図り、相談しやすい関係や雰囲気をつくるようにするとともに、気になる児童・生徒には積極的な声掛けや組織的な対応を継続する。

【小学校】

	質問事項		2人以上いる	1人いる	いない	無回答	
児童	⑦こまったことがあったら、相談してみようと思う大人はいますか。	令和4	68%	22%	10%	0%	
		令和3	62%	24%	13%	1%	
		令和2	60%	24%	15%	1%	
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	⑥お子様のことで何か困ったことがあったとき、相談してみようと思う先生がいますか。	令和4	38%	38%	18%	6%	0%
		令和3	36%	43%	15%	5%	1%

【中学校】

	質問事項		2人以上いる	1人いる	いない	無回答	
生徒	⑦困ったことがあったら、相談してみようと思う大人はいますか。	令和4	60%	23%	17%	0%	
		令和3	54%	24%	21%	1%	
		令和2	52%	26%	21%	1%	
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	⑥お子様のことで何か困ったことがあったとき、相談してみようと思う先生がいますか。	令和4	23%	40%	24%	13%	0%
		令和3	24%	46%	21%	9%	0%

○肯定的な回答をした児童は80%、生徒は81%である。
 ○「学校は、お子様に将来の生き方や夢について考える機会を提供していると思いますか。」という質問に対し、小学校では60%の保護者、中学校では59%の保護者が肯定的な回答をしている。
 ○「学校からお子様に提供される進路に関する資料・情報は、役に立ちますか。」という質問に対し、中学校では59%の保護者が肯定的な回答をしている。
 ⇒キャリア・パスポートの有効活用等を通して、児童・生徒が学習や生活の見通しを立てたり、将来の生き方を考えたりする機会を多く設定する。
 ⇒職場体験等の行事を通して、将来の夢や生き方について考えさせるとともに、望ましい勤労観・職業観を育てていく。
 ⇒キャリア教育に関わる学校の取組や進路の情報を保護者と共有するために、保護者会や学校便り、学校ホームページ等で丁寧な説明、積極的な情報発信を行う。

【小学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
児童	①「自分の得意なことは何か」、「自分に向いていることは何か」について考えることがありますか。	令和4	40%	40%	14%	6%	0%
		令和3	42%	39%	13%	5%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に将来の生き方や夢について考える機会を提供していると思いますか。	令和4	14%	46%	34%	6%	0%
		令和3	13%	53%	30%	3%	1%

【中学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
生徒	①「自分の得意なことは何か」、「自分に向いていることは何か」について考えることがありますか。	令和4	39%	42%	13%	6%	0%
		令和3	40%	40%	14%	6%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校は、お子様に将来の生き方や夢について考える機会を提供していると思いますか。	令和4	12%	47%	34%	7%	0%
		令和3	9%	51%	34%	6%	0%
保護者	③学校からお子様に提供される進路に関する資料・情報は、役に立ちますか。	令和4	14%	45%	33%	8%	0%
		令和3	10%	48%	35%	7%	0%

○肯定的な回答をした小学校の保護者は64%、中学校の保護者は62%である。
 ⇒小中連携教育の効果を保護者が実感できるよう、学習指導、生活指導等における義務教育9年間を通した系統的、継続的な指導を一層推進する。
 ⇒小中連携教育の取組内容について、保護者の理解を図るために、保護者会や学校便り、学校ホームページ等で丁寧な説明、積極的な情報発信を行う。

【小学校】

	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②小中連携教育は、お子様が中学校生活への見通しをもつ上で、役に立っていると思いますか。(6年対象)	令和4	15%	49%	29%	7%	0%

【中学校】

	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②小中連携教育は、お子様が中学校入学後にスムーズに学校生活を送る上で、役に立っていると思いますか。(1年対象)	令和4	14%	48%	33%	5%	0%

輝く未来

○肯定的な回答をした児童は81%、生徒は82%、小学校の保護者は51%、中学校の保護者は58%である。
 ⇒キャリア・パスポートの有効活用等を通して、児童・生徒が学習や生活の見通しを立てたり、将来の生き方を考えたりする機会を多く設定する。
 ⇒児童・生徒と保護者の回答に差が見られることから、学校におけるキャリア教育の取組について保護者に情報発信することで、家庭でも親子で将来や進路について考える場がもてるようにする。

【小学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
児童	②自分の将来について考えることがありますか。	令和4	49%	32%	13%	6%	0%
		令和3	46%	35%	12%	7%	0%
		令和2	45%	35%	13%	7%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③お子様は、自分の将来や進路について考えていると思いますか。	令和4	17%	34%	38%	11%	0%
		令和3	15%	36%	40%	8%	1%

【中学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
生徒	②自分の将来について考えることがありますか。	令和4	45%	37%	13%	5%	0%
		令和3	44%	37%	14%	5%	0%
		令和2	39%	37%	18%	6%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④お子様は、自分の将来や進路について考えていると思いますか。	令和4	21%	37%	33%	9%	0%
		令和3	17%	40%	34%	9%	0%

○肯定的な回答をした児童・生徒共に90%であり、増加している。
 ⇒キャリア・パスポートの活用等を通して学期初めや学期末に各自が目標を立て、学習面や生活面の振り返りを丁寧に行い、それに対して教員が具体的な賞賛や改善に向けた助言を行ってきたことが、成果として表れている。
 ⇒「グッドモーニング60分」や「家庭学習スタンダード」等を活用し、生活習慣や学習習慣の改善に向けて、具体的な目標をもちながら、よりよい生活の実現に向けて取り組めるようにする。

【小学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
児童	③これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思えますか。	令和4	40%	50%	8%	2%	0%
		令和3	37%	50%	11%	2%	0%

【中学校】

	質問事項		とても思う	思う	あまり思わない	思わない	無回答
生徒	③これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思えますか。	令和4	40%	50%	8%	2%	0%
		令和3	37%	51%	9%	3%	0%

輝く未来

○肯定的な回答をした児童は59%、生徒は63%、小学校の保護者は59%、中学校の保護者は60%である。
 ⇒各学校で、学級活動をはじめとして教育活動全体を通して、将来について自分以外の人と対話する機会をより一層つくっていく。
 ⇒児童・生徒が自分の将来について家族と話し合い、考える機会をつくるように、保護者からの働き掛けについて保護者会等を通じて啓発していく。

【小学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
児童	④自分以外の人と、自分の将来について話をすることがあります。	令和4	26%	33%	27%	14%	0%
		令和3	25%	33%	28%	13%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④お子様は、家庭で将来について話をしますか。	令和4	23%	36%	31%	10%	0%
		令和3	22%	40%	31%	6%	1%

【中学校】

	質問事項		ある	時々ある	あまりない	ない	無回答
生徒	④自分以外の人と、自分の将来について話をすることがあります。	令和4	27%	36%	25%	12%	0%
		令和3	26%	35%	27%	12%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	⑤お子様は、家庭で将来について話をしますか。	令和4	20%	40%	30%	10%	0%
		令和3	20%	40%	32%	8%	0%

たくましい体

○肯定的な回答をした児童は80%、生徒は68%、小学校の保護者は66%、中学校の保護者は67%である。
 ⇒体育科・保健体育科の授業のみならず、休み時間にも校庭で遊んだり運動したりするよう、各学校が児童・生徒により一層働き掛けを行う。特に小学校に比べて中学校では肯定的な回答の割合が低くなっており、部活動等で日常的に運動を行っている生徒とそうでない生徒の運動時間の差が大きくなっている可能性がある。各学校においては、「元気アップガイドブック」等を効果的に活用しながら、全ての児童・生徒が体を動かすことの楽しさを味わえるよう、授業改善を進める。
 ⇒体力向上の取組内容について、保護者の理解を図るために、学校便り、学校ホームページ等で積極的に情報発信を行う。

【小学校】

	質問事項		たくさんしている	している	あまりしていない	していない	無回答
児童	①学校で、遊んだり体を動かしたりしていますか。	令和4	45%	35%	17%	3%	0%
		令和3	44%	37%	16%	3%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校の体力向上の取組について、満足していますか。	令和4	16%	50%	29%	5%	0%
		令和3	17%	56%	22%	3%	2%

【中学校】

	質問事項		たくさんしている	している	あまりしていない	していない	無回答
生徒	①学校で、遊んだり体を動かしたりしていますか。	令和4	31%	37%	24%	8%	0%
		令和3	32%	42%	19%	7%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	①学校の体力向上の取組について、満足していますか。	令和4	14%	53%	27%	6%	0%
		令和3	12%	53%	30%	5%	0%

たくましい体

○肯定的な回答をした児童は86%、生徒は76%、小学校の保護者は81%、中学校の保護者は70%である。児童・生徒共に肯定的な回答の割合は増加しており、各学校が実生活と結び付けた指導を行ってきた成果であると考えられる。
⇒各学校は、生活指導や保健指導、避難訓練、セーフティ教室等を通して、児童・生徒が自分で自分の身を守ったり、より健康的な生活を目指したりできるよう、具体的な場面を想定した指導や、生活習慣の改善に向けた目標を立てさせたりする指導を行う。
⇒防災ノートや東京マイ・タイムラインを活用して話し合うなど、実際の場面において適切な避難行動ができるよう、学校と家庭、地域が連携した取組を行う。また、各学校は、「グッドモーニング60分」の目的や取組内容を保護者に説明して、生活習慣の改善に向けて家庭と連携した取組を行う。

【小学校】

	質問事項		よく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
児童	②学校で学んだ安全や健康についての知しきを生活の中で生かしていますか。	令和4	31%	55%	13%	1%	0%
		令和3	30%	51%	17%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、授業等で学んだ安全や健康についての知識を日常の生活の中で生かしていると思いますか。	令和4	25%	56%	16%	3%	0%
		令和3	21%	61%	16%	2%	2%

【中学校】

	質問事項		よく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
生徒	②学校で学んだ安全や健康についての知識を生活の中で生かしていますか。	令和4	22%	54%	21%	3%	0%
		令和3	22%	53%	21%	4%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、授業等で学んだ安全や健康についての知識を日常の生活の中で生かしていると思いますか。	令和4	14%	56%	26%	4%	0%
		令和3	12%	55%	29%	4%	0%

たくましい体

○肯定的な回答をした児童は77%、生徒は65%、小学校の保護者は61%、中学校の保護者は64%である。児童・生徒共に肯定的な回答の割合は増加しており、各学校が実生活と結び付けた指導を行ってきた成果であると考えられる。
 ⇒体育、保健体育科や家庭科の授業、給食の時間に学んだ食の知識を活用することで、食を選択する力を育み、健全な食生活を実践することができるよう、各学校では「食に関する全体計画」を基に、計画的に指導を行う。
 ⇒各学校は、給食の時間等に地場食材について学習する機会を設けることで、児童・生徒が地元の安全・安心な食材に興味をもち、健全な食生活の実践につなげていけるようにする。
 ⇒お弁当の日を通して、児童・生徒が食事の大切さについて考える機会となるよう、学校と家庭が連携して取組を行う。

【小学校】

	質問事項		よく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
児童	③学校で学んだ食事や栄養についての知しきを生活の中で生かしていますか。	令和4	28%	49%	20%	3%	0%
		令和3	29%	44%	22%	4%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③お子様は、授業等で学んだ正しい食事の在り方や栄養についての知識を日常の食生活の中に生かしていると思いますか。	令和4	16%	45%	32%	7%	0%
		令和3	15%	50%	30%	4%	1%

【中学校】

	質問事項		よく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
生徒	③学校で学んだ食事や栄養についての知識を生活の中で生かしていますか。	令和4	18%	47%	29%	6%	0%
		令和3	18%	39%	32%	10%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	③お子様は、授業等で学んだ正しい食事の在り方や栄養についての知識を日常の食生活の中に生かしていると思いますか。	令和4	17%	47%	29%	7%	0%
		令和3	10%	45%	39%	6%	0%

たくましい体

○肯定的な回答をした児童は89%、生徒は90%、小学校の保護者は91%、中学校の保護者は83%である。
⇒各学校では「グッドモーニング60分」の取組を行い、児童・生徒の1日の生活リズムを整え、生活習慣の改善を図る。
⇒各学校は「グッドモーニング60分」の取組期間を設定し、児童・生徒が目標を立てて実践し、成果と課題を学級で共有するなど、工夫した取組を行う、

【小学校】

	質問事項		毎日起きている	ほぼ毎日起きている	あまり起きていない	起きていない	無回答
児童	④毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	令和4	39%	50%	9%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④お子様は、毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	令和4	48%	43%	8%	1%	0%

【中学校】

	質問事項		毎日起きている	ほぼ毎日起きている	あまり起きていない	起きていない	無回答
生徒	④毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	令和4	37%	53%	8%	2%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	④お子様は、毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	令和4	35%	48%	12%	5%	0%

その他1

○小学校では、「友達と遊ぶ」の割合が69%、中学校では「部活動」の割合が60%であり、各校種で一番高い割合となっている。
⇒多くの児童・生徒が放課後、多様な活動を行い、有意義な時間を過ごしている。各学校においては、学習と運動、あるいは学習と部活動の両立等、放課後の有意義な時間の使い方について、一人一人のキャリア形成や自己実現の視点も踏まえながら、継続的に指導していく。

【小学校】

	質問事項			塾、習い事	宿題、勉強(自習)	読書	友達と遊ぶ	その他	無回答
児童	①放課後は、どのようにすごしていますか。(複数回答可)	令和4		63%	68%	26%	69%	40%	0%
		令和3		23%	26%	10%	25%	16%	0%

【中学校】

	質問事項		部活動	塾、習い事	宿題、勉強(自習)	読書	友達と遊ぶ	その他	無回答
生徒	①放課後は、どのようにすごしていますか。(複数回答可)	令和4	60%	52%	16%	46%	39%	0%	0%
		令和3	21%	22%	17%	9%	18%	13%	0%

※本質問について、令和4年度は複数回答を可能としているため、それぞれの項目について、児童・生徒の割合を示した。令和3年度は、項目を1つ選び回答している。

その他2

○自分のスマートフォンやタブレットの利用時間について、小学校では「1時間以上2時間未満」及び「持っていない」と回答した割合が20%、中学校では「4時間以上」と回答した割合が29%となっており、各校種で一番高い割合となっている。
⇒小学校、中学校ともに所持率は高いと言える。また、中学生になると小学生の時と比べ、使用時間も長くなっている。各学校において、安全教育年間指導計画に基づいた安全教育をより一層推進するとともに、小学校低学年の段階から継続的に視力の低下防止や姿勢の保持等、健康面とも関連付けた利用に関する注意事項やインターネット利用時の留意事項に関する指導を行っていく。

【小学校】

	質問事項		4時間以上	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	まったく使っていない	持っていない	無回答
児童	①自分のスマートフォンやタブレットなどは、1日平均、何時間使いますか。	令和4	13%	10%	13%	20%	12%	9%	3%	20%	0%
		令和3	12%	8%	14%	19%	13%	9%	4%	20%	1%

【中学校】

	質問事項		4時間以上	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	まったく使っていない	持っていない	無回答
生徒	①自分のスマートフォンやタブレットなどは、1日平均、何時間使いますか。	令和4	29%	19%	24%	14%	6%	2%	1%	5%	0%
		令和3	25%	16%	21%	16%	7%	5%	3%	6%	1%

その他2

○家族が持っているスマートフォンやタブレットなどの利用時間については、「まったく使っていない」の割合が、小学校では31%、中学校では48%となっており、一番高い割合である。
 ⇒家族が持っているスマートフォンやタブレットを使用している児童・生徒の割合は高いと言える。また、家族の持っているスマートフォンやタブレットを使用していなくても、自分のものを使用している割合は高い。今後、各学校においてSNSの使用ルールについて、より丁寧に指導するとともに、家庭においても、SNS家庭ルールに基づいた使用をしていくよう保護者に啓発していく。
 ⇒各学校において、スマートフォンやタブレット等の長時間使用による健康被害や生活習慣への影響についても、体育科、保健体育科を中心に学習を深めていく。また、家族の持っているスマートフォンやタブレットなどは、フィルタリングがかかっていない場合が想定されるため、安全な使用について家庭に啓発していく。

【小学校】

	質問事項		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	まったく使っていない	持っていない	無回答
児童	②家族が持っているスマートフォンやタブレットなどは、1日平均、何時間使いますか。	令和4	7%	7%	12%	12%	23%	31%	8%	0%
		令和3	7%	8%	14%	13%	23%	29%	6%	0%

【中学校】

	質問事項		3時間以上	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	30分以上1時間未満	30分未満	まったく使っていない	持っていない	無回答
生徒	②家族が持っているスマートフォンやタブレットなどは、1日平均、何時間使いますか。	令和4	8%	6%	7%	7%	14%	48%	10%	0%
		令和3	11%	8%	8%	10%	11%	39%	11%	2%

その他2

○使用率が高かったアプリは小学校については、ユーチューブが81%、ゲームアプリが72%であった。中学校については、ラインとユーチューブが91%、ゲームアプリが81%である。
 ⇒各学校において、SNSを適切に使用するための基本的な考え方や態度を身に付けさせるとともに、SNS上で発生するトラブルを回避するための情報モラルについての教育をより一層推進していく。また、今後も、SNS東京ノート等を活用した授業を継続して行っていく。
 ⇒利用に際して、年齢が制限されているアプリもあるため、保護者が適切な管理をするよう、各学校が啓発する。

【小学校】

	質問事項		ライン	ゲームアプリ	ユーチューブ	ツイッター	インスタグラム	ティックトック	フェイスブック	その他	無回答
児童	③スマートフォンやタブレットなどで、次のアプリを使ったことがありますか。(複数回答可)	令和4	50%	72%	81%	10%	12%	28%	3%	29%	0%
		令和3	49%	75%	84%	11%	10%	32%	4%	28%	1%

【中学校】

	質問事項		ライン	ゲームアプリ	ユーチューブ	ツイッター	インスタグラム	ティックトック	フェイスブック	その他	無回答
生徒	③スマートフォンやタブレットなどで、次のアプリを使ったことがありますか。(複数回答可)	令和4	91%	81%	91%	36%	47%	54%	7%	28%	0%
		令和3	83%	77%	83%	42%	46%	53%	15%	32%	0%

※本質問について、複数回答を可能としているため、それぞれの項目について、児童・生徒の割合を示した。

その他2

○使用率が高かったアプリは小学校については、オンラインゲームが59%、ユーチューブが48%であった。中学校については、オンラインゲームが70%、ユーチューブが59%である。
 ⇒各学校において、SNSを適切に使用するための基本的な考え方や態度を身に付けさせるとともに、SNS上で発生するトラブルを回避するための情報モラルについての教育をより一層推進していく。また、今後も、SNS東京ノート等を活用した授業を継続して行っていく。
 ⇒保護者に対して、児童・生徒の利用時間等について適切な管理をするよう、各学校は啓発を行っていく。

【小学校】

	質問事項		オンラインゲーム	ユーチューブ	オンラインショッピング	チャット	ボイスチャット	行ったことはない	無回答
児童	④ゲーム機を使って、行ったことがあるものはどれですか。 (複数回答可)	令和4	59%	48%	14%	34%	28%	28%	0%
		令和3	56%	50%	17%	28%	30%	28%	1%

【中学校】

	質問事項		オンラインゲーム	ユーチューブ	オンラインショッピング	チャット	ボイスチャット	行ったことはない	無回答
生徒	④ゲーム機を使って、行ったことがあるものはどれですか。 (複数回答可)	令和4	70%	59%	19%	40%	34%	21%	0%
		令和3	66%	53%	21%	32%	35%	27%	0%

※本質問について、複数回答を可能としているため、それぞれの項目について、児童・生徒の割合を示した。

その他2

○「決めている」、「話合い中」と回答した児童の割合の合計は79%、生徒の割合の合計は70%である。
 ○「お子様が、家庭でスマートフォンやタブレットなどで、インターネットを使うときは、ルールを守らせていますか。」との質問に対し、小学校では64%の保護者、中学校では60%の保護者が肯定的な回答をしている。
 ○各学校において、SNS東京ノート等を活用し、情報モラルやSNS東京ルールについて継続して指導していく。
 ○保護者に対しては、保護者会や三者面談等を通じて、SNS家庭ルールをつくり、そのルールに沿った使用を児童・生徒にさせるよう促していく。

【小学校】

	質問事項		決めている	話合い中	決めていない	無回答
児童	⑤スマートフォンやタブレットなどで、インターネットを使うときは、家庭でルールを決めていますか。	令和4	73%	6%	21%	0%
		令和3	73%	7%	19%	1%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない
保護者	① お子様が、家庭でスマートフォンやタブレットなどで、インターネットを使うときは、ルールを守らせていますか。	令和4	23%	41%	28%	8%

【中学校】

	質問事項		決めている	話合い中	決めていない	無回答
生徒	⑤スマートフォンやタブレットなどで、インターネットを使うときは、家庭でルールを決めていますか。	令和4	64%	6%	30%	0%
		令和3	59%	10%	31%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない
保護者	① お子様が、家庭でスマートフォンやタブレットなどで、インターネットを使うときは、ルールを守らせていますか。	令和4	16%	44%	29%	11%

その他2

○肯定的な回答をした児童は85%、生徒は82%、小学校の保護者は71%、中学校の保護者は69%である。
 ⇒SNSを使う際のルールは全ての人が守らなければならないものであり、肯定的な回答の割合が昨年度より増加しているものの、決して高いとは言えない。今後も各学校において継続して、SNSのルールについて、具体的な事例を挙げながら指導を行い、児童・生徒が日常生活に生かせるようにしていく。
 ⇒家庭において、ルールに基づき、児童・生徒の適切な利用に向けた見守りをするよう促していく。

【小学校】

	質問事項		とてもよく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
児童	⑥学校で学んだインターネットを使うときのルールを、生活の中で生かしていますか。	令和4	32%	53%	12%	3%	0%
		令和3	30%	50%	15%	5%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、学校で学んだインターネットを使うときのルールを、生活の中で生かしていると思いますか。	令和4	23%	48%	23%	7%	0%
		令和3	24%	47%	22%	4%	3%

【中学校】

	質問事項		とてもよく生かしている	生かしている	あまり生かしていない	生かしていない	無回答
生徒	⑥学校で学んだインターネットを使うときのルールを、生活の中で生かしていますか。	令和4	27%	55%	13%	5%	0%
		令和3	21%	51%	19%	9%	0%
	質問事項		そう思う	だいたいそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない	無回答
保護者	②お子様は、学校で学んだインターネットを使うときのルールを、生活の中で生かしていると思いますか。	令和4	19%	50%	23%	8%	0%
		令和3	14%	49%	28%	8%	1%